

## 探求学習（歴史） 明治政府と佐賀

～なぜ、江藤新平は処刑されなければならなかったのか～

年 組 番:氏名( )

1) 江藤新平に関するできごとについて( )に適する語句を書きなさい。

<江藤新平の歩んだ道>

|            | 歳  | 江藤新平関連のできごと                      |
|------------|----|----------------------------------|
| 1834(天保5)年 | 1  | ・現在の(①)市八戸で生まれる                  |
| 1849(嘉永2)年 | 16 | ・藩校(②)に入校                        |
| 1856(安政3)年 | 23 | ・『(③)』を執筆                        |
| 1862(文久2)年 | 29 | ・佐賀を脱藩し、(④)へ。その後、佐賀へ帰藩。永蟄居に      |
| 1868(明治元)年 | 35 | ・(⑤)奠都建白                         |
| 1870(明治3)年 | 37 | ・国政の基本方針(⑥)策定<br>・憲法・(⑦)制定検討会議開催 |
| 1871(明治4)年 | 38 | ・(⑧)省を設置<br>・(⑨)大輔に就任、左院副議長に就任   |
| 1872(明治5)年 | 39 | ・(⑩)卿に就任 「司法職務定制」制定              |
| 1873(明治6)年 | 40 | ・司法卿辞表提出、参議に就任、参議を辞任(明治六年政変)     |
| 1874(明治7)年 | 41 | ・佐賀に帰郷、(⑪)勃発、佐賀にて刑死              |

2) 江藤が提言したことを3つ以上書きなさい。(「提言」とは、政治の不十分さなどについて、新たな政治のやり方や改善策を具体的に提示し、その実施を求めること)

|  |
|--|
|  |
|--|

3) 江藤が提言した東京奠都について、①ともに提言した佐賀出身の人物と、②奠都の意味を説明しなさい。

|   |   |
|---|---|
| ① | ② |
|---|---|

4) 江藤が司法省の初代長官となり、『司法職務定制』を定めておこなったことについて( )に適する語句を書きなさい。

|                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| これまで府県の権限でバラバラに行われてきた裁判事務を(①)に統一するとともに、全国への裁判所設置や判事・検事・(②)(弁護士)制度の導入など、「(③)」の保護のための司法権を確立 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|

年 組 番:氏名( )

5) 江藤が行った国民皆教育制度の導入について、①江藤の考えた方針と、②制度化した人物を書きなさい。

①

②

6) 江藤が「天下第一の急務」と力説して編集を行ったことを書きなさい。

7) 佐賀戦争について書きなさい。

① 佐賀戦争について、これまで位置付けられていたことを書きなさい。

② 江藤が佐賀に帰った目的を書きなさい。

③ 「佐賀戦争とは」を読んで、佐賀戦争に参加した江藤の気持ちを書きなさい。

○ 今回の学習で学んだことをもとに、将来、あなたが「世の中のために」やりたいと思うことを具体的に書きなさい。

## 回答

# 探求学習（歴史） 明治政府と佐賀

～なぜ、江藤新平は処刑されなければならなかったのか～

年 組 番:氏名( )

1) 江藤新平に関するできごとについて( )に適する語句を書きなさい。

<江藤新平の歩んだ道>

|            | 歳  | 江藤新平関連のできごと                                |
|------------|----|--------------------------------------------|
| 1834(天保5)年 | 1  | ・現在の(① 佐賀 )市八戸で生まれる                        |
| 1849(嘉永2)年 | 16 | ・藩校(② 弘道館 )に入校                             |
| 1856(安政3)年 | 23 | ・『(③ 図海策 )』を執筆                             |
| 1862(文久2)年 | 29 | ・佐賀を脱藩し、(④ 京都 )へ。その後、佐賀へ帰藩。永蟄居に            |
| 1868(明治元)年 | 35 | ・(⑤ 東京 )奠都建白                               |
| 1870(明治3)年 | 37 | ・国政の基本方針(⑥ 三権分立 )策定<br>・憲法・(⑦ 民法 )制定検討会議開催 |
| 1871(明治4)年 | 38 | ・(⑧ 司法 )省を設置<br>・(⑨ 文部 )大輔に就任、左院副議長に就任     |
| 1872(明治5)年 | 39 | ・(⑩ 司法 )卿に就任 「司法職務定制」制定                    |
| 1873(明治6)年 | 40 | ・司法卿辞表提出、参議に就任、参議を辞任(明治六年政変)               |
| 1874(明治7)年 | 41 | ・佐賀に帰郷、(⑪ 佐賀戦争 )勃発、佐賀にて刑死                  |

2) 江藤が提言したことを3つ以上書きなさい。(「提言」とは、政治の不十分さなどについて、新たな政治のやり方や改善策を具体的に提示し、その実施を求めること)

中央集権と地方自治 東京奠都 三権分立

3) 江藤が提言した東京奠都について、①ともに提言した佐賀出身の人物と、②奠都の意味を説明しなさい。

① 大木喬任

② 江戸を「東京」として新たな都をおくこと

4) 江藤が司法省の初代長官となり、『司法職務定制』を定めておこなったことについて( )に適する語句を書きなさい。

これまで府県の権限でバラバラに行われてきた裁判事務を(① 司法省 )に統一するとともに、全国への裁判所設置や判事・検事・(② 代言人 (弁護人))制度の導入など、「(③ 人民の権利 )」の保護のための司法権を確立

5) 江藤が行った国民皆教育制度の導入について、①江藤の考えた方針と、②制度化した人物を書きなさい。

① 国家が全国民の教育に積極的に責任を負う方針

② 大木喬任（文部行政を引き継いだ大木喬任の下で制度化される）

6) 江藤が「天下第一の急務」と力説して編集を行ったことを書きなさい。

民法制定

7) 佐賀戦争について書きなさい。

① 佐賀戦争について、これまで位置付けられていたことを書きなさい。

明治7(1874)年2月に「江藤が佐賀で起こした士族の反乱」

② 江藤が佐賀に帰った目的を書きなさい。

政府への不満を募らせて、不穏な空気が高まっていた佐賀の士族を説得し、騒動を収めることが目的

③ 「佐賀戦争とは」を読んで、佐賀戦争に参加した江藤の気持ちを書きなさい。

江藤は「国会開設」による体制変更を目指していた真っ最中であり、武力蜂起による解決を想定して動いていなかった。

また、政府から一方的に戦争を仕掛けられた佐賀士族には、自らの戦い以外に選択の余地はなかった。

○ 今回の学習で学んだことをもとに、将来、あなたが「世の中のために」やりたいと思うことを具体的に書きなさい。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |